

2017年度「ステファニ・レナト賞」候補者推薦要項

2017年4月

主催 ステファニ・レナト賞実行委員会

後援 ステファニ記念・東ティモール子ども募金

1. 賞の目的

この賞は、国の内外を問わず、弱者の側に立ち、人間としての尊厳を守るための活動をしている個人や団体を表彰し、故ステファニ・レナトさんの精神に基づく活動の裾野を広げることを目的としています。2017年度はステファニ・レナト賞（本賞）のほかに、小規模ながらも有意義な活動を続けている団体や、地域のNGOネットワークの発展に貢献している団体などを対象に、ステファニ・レナト「奨励賞」を2団体程度選考する予定です。

2. 候補対象および推薦者の資格

(1) 自薦、他薦を問いません。推薦者の条件はありません。

(2) 候補者は、以下の条件に当てはまる個人または団体とします。年齢・職業・性別・信条・国籍などの制限はありません。過去の受賞者は対象外です。

(ア) 「本賞」については、団体の場合は年間予算規模が概ね5000万円以下で、東海地域（愛知、岐阜、三重、静岡）を拠点に3年以上の活動実績があること。個人の場合は東海地域在住者、または過去においてこの地域で3年以上の活動実績がある方。

(イ) 「奨励賞」は団体のみを対象とします。年間予算規模が概ね2000万円以下で、エントリー・シート提出時点において名古屋NGOセンターの加盟団体として認められていることを条件とします。

3. 選考について

候補者の功績について、選考委員会のメンバーが、それぞれの見識に基づき、厳正な選考を行います。今年度の選考委員については、受賞者決定後に公表いたします。なお、昨年度の選考委員は以下のとおりです。（敬称略・五十音順）

鮎京 正訓（愛知県公立大学法人 理事長）

熊谷 晃子（独立行政法人国際協力機構（JICA）中部国際センター 所長）

杉浦 博治（ヤマダヤコーポレーション株式会社 代表取締役）

西井 和裕（名古屋NGOセンター 理事長）

松本 雅美（学校法人ムンド・デ・アレグリア校長 *昨年度受賞者）

※なお、選考の過程については公表致しません。

4. 受賞者（団体）の決定

(1) 選考委員会の審査・選考を経て決定し、10月6日（ステファニ・レナト氏命日）に発表いたし

ます。受賞者には事務局より直接ご連絡差し上げます。また、10月6日以降名古屋 NGO センターHP (URL:<http://www.nangoc.org>) にて公表いたします。

(2) 受賞者には12月または1月に名古屋市内で行われる表彰式兼受賞記念講演会に出席していただきます。本賞受賞者は20～30分程度の受賞記念講演を、奨励賞受賞団体は15分程度の活動紹介をお願いする予定です。

(3) ステファニ・レナト賞(本賞)の受賞者には、表彰盾および副賞30万円を贈呈します。奨励賞の受賞団体には副賞10万円を贈呈いたします。

5. 応募方法および締切

(1) 第1次審査: 所定のエントリー・シートに必要事項をご記入の上、実行委員会事務局あてメールまたは郵送にてご提出下さい(自薦可。メールアドレス、住所は下記参照)。活動内容がわかる資料(記事、パンフレットなど)3枚以内を添付(PDF可)していただくことも可能です。(受付期間2017年5月15日(月)～6月15日(木)まで。郵送の場合は締切日必着)

(2) 第2次審査: 第1次審査を通過した候補者(推薦者)には、6月末頃までに連絡を致します。第2次審査応募書類として、右記①と②を締切日までにご提出ください。<①推薦書類と②関連資料(パンフレット、会報、写真、記事、直近の事業年度報告書および決算書・予算書など)を1部ずつ(※新聞記事・会報がない場合は省略可)をご提出いただきます。(第2次審査応募書類締切日:8月5日(土))

(3) 最終選考: 第2次審査を通過し最終選考に残った候補には、上記応募書類一式を5部(コピー可)提出して頂くことになります。(9月初旬までにご連絡致します。)

6. その他

(1) エントリー・シート、推薦用紙の様式は、名古屋 NGO センターHP (URL:<http://www.nangoc.org>) からダウンロードいただけます(4月下旬公表予定)。記入にあたって留意すべき点が記されていますので、よくお読みになり、十分にご理解の上お書きください。

(2) 選考の過程で、関係者に電話照会等させていただく場合がございますのでご了承ください。

(3) 提出資料は返却いたしません。応募にかかる郵送費はご負担下さい。

<故ステファニ・レナト氏>

ステファニ・レナト氏(イタリア出身、1937-2003)は、1964年に来日して以来、神父としての教会活動のかたわら、日本国内で40年間近くにわたり、一貫して社会的弱者の立場にたち、人間の尊厳を守る活動を続けてこられました。特定非営利活動法人名古屋NGOセンターの初代理事長として、東海地方におけるNGO活動の発展、市民レベルでの他者理解および国際協力の推進のため、多大な貢献をしてこられたことは広く知られています。

2003年10月、レナト氏は東ティモールの地で活動中に不慮の交通事故で亡くなりました。その知らせは、東海地方だけでなく全国、さらに海外のNGO関係者にも大きな衝撃と深い悲しみを与えました。

名古屋 NGO センター・ステファニ・レナト賞実行委員会

実行委員長 小池康弘(愛知県立大学教授、(特活)名古屋 NGO センター理事)

副実行委員長 市川隆之((特活)名古屋 NGO センター理事)

実行委員 有泉道子/加藤克也/原田篤実/吉川典子/門田一美

監事 倉地茂雄(税理士、(特活)名古屋 NGO センター監事)

【書類送付先・問合せ先】

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2丁目3番地 YWCA ビル7階

メールアドレス: renato@nangoc.org